

一

年の無火災、無災害を願って 平成26年西尾市消防出初式

西尾市消防出初式が1月11日、文化会館南駐車場で行われ、消防職員、消防団員、市民消火隊員らが、日頃の訓練の成果を披露しました。恒例のかくし絵では、公募した標語の中で最優秀賞となった「出初式 新年祝い 平和の日」と書かれた標語と、



世界文化遺産に登録された富士山を背景に、今年のえとの馬が姿を現すと、観衆から歓声と拍手が沸き起こりました。このほか、三連はしご操法や一斉放水などの訓練が、厳粛な規律の下に披露されました。



夢

に向かって、大人としての第一歩 平成26年西尾市成人式



平成26年西尾市成人式が1月12日、総合体育館で行われました。1市3町の合併後初めて1会場で開催され、新成人1,470人が出席しました。

会場では華やかな晴れ着姿の新成人たちが、懐かしい友人や恩師との再会に喜び合い、記念撮影をしたり、話に花を咲かせたりしていました。式典では、恩師からのビデオレターや、新成人たちの夢や目標を紹介したスライドショー、誓いの言葉などがあり、新成人たちは大人としての決意を新たにしていました。



新

春恒例の走り初め 第49回一色マラソン大会

第49回一色マラソン大会が1月26日、一色町体育館周辺で行われました。新春を飾るマラソン大会として定着している



同大会に、過去最高の3,912人がエントリー。遠くは沖縄県からの参加者もありました。寒風吹きすさぶ中、沿道の観衆や、一色中学校生徒のボランティアらの声援を受けて走っていました。



1/19 ^{よくほり}みどり川四九朝市23周年行事

毎月4と9の付く日にみどり川沿いで行われている四九朝市の23周年行事が行われ、訪れた市民らが買い物をしたり、お楽しみ抽選会を楽しんだりしていました。



1/22 防火デーに伴う防災訓練



市指定文化財の義倉蔵、祇園祭のみこしと御旅所がある伊文神社で、1月26日の文化財防火デーに合わせ、消火訓練などが行われました。

2/2 春風亭小朝独演会



文化会館大ホールで上演。弟子のぴっかりさんの落語に続き、小朝師匠の卓越した話術による粋なこぼなしや落語で、観衆の笑いを誘っていました。

2/9 愛知県民俗芸能大会 (西尾市大会)



文化会館大ホールで上演。西尾市の三河万歳をはじめ、豊田市、名古屋市、岡崎市からも無形民俗文化財などが、見事に演じられました。

今月の表紙

2月9日に行われた、天下の奇祭「鳥羽の火祭り」。約1,200年前から伝えられ、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統ある祭りです。燃え上がる「すずみ」の中に飛び込む奉仕者たちの勇敢な姿に、圧倒されながら撮影した一枚です。

編集 雑記

この雑記を書いているのは、ちょうど冬季オリンピックが開幕したところです。選手たちのうれし涙、悔し泣き、力を出し切ったという満面の笑顔。メダルが取れても取れなくても、4年に一度の大会に、全力で自分を表現している姿に心を奪われてしまいます。市内の学校に通う児童生徒たちも陸上競技、球技など、さまざまな競技で活躍しています。この若い力を6年後の東京オリンピックで見ることができたら…。想像するだけで、胸がワクワクします。(A)

冬の山からの贈り物 体験学習会「お花炭を焼いてみよう」

いきものふれあいの里の体験学習会「お花炭を焼いてみよう」が2月2日、ネイチャーセンターで行われました。イガグリやマツボックリ、モミジバフウの実などをアルミホイルで包み、クヌギやコナラの葉っぱと一緒に大きな缶に入れ、たき火台に載せて1時間、じっくりと焼き上げました。参加者は、そのままの形でしっかりと炭になった「お花炭」を一つ一つ手で取り出し、飾る場所や飾り方を思い浮かべながら笑顔で眺めていました。



防 災意識の高揚と防災力の強化 西尾市防災フォーラム

西尾市防災フォーラムが2月9日、文化会館で開催されました。この地域で心配されている南海トラフ巨大地震を考える機会とするもので、約350人の市民が参加しました。



第1部では、NPO法人「レスキューストックヤード」代表理事の栗田暢之氏のコーディネートにより、市内の中学生10人が防災についてのパネルディスカッションを行いました。大地震や大津波などの対策を話し合い、今後の防災対策を強化するための力強い宣言を一生懸命に発表すると、客席からは大きな拍手が送られていました。



第2部では、栗田氏による南海トラフ巨大地震に備える基調講演もあり、参加者は真剣に聞き入っていました。